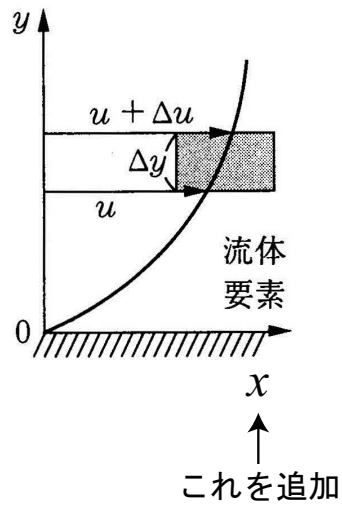


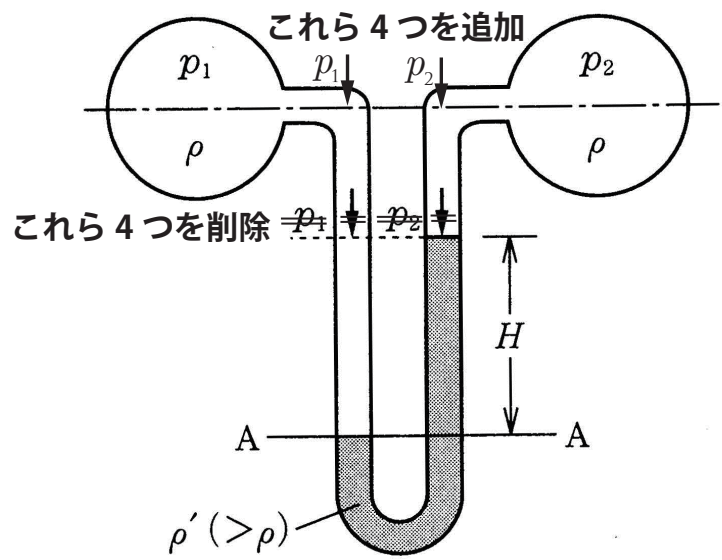
「流体の力学-現象とモデル化-」 5刷追加説明表

以下の表は、本書の中身をより理解しやすくするための追加説明表です。

頁	行・式	原文	追加説明文
5	図 1.3 の左図		{ 図の改良：グラフの横軸へ軸名称” x ”を入れる。[下図(1) 参照!]
18	図 2.10		{ 図の修正：2本の矢印↓の位置を一点鎖線上にする。[下図(2) 参照!]
39	上から 1 行目	図 4.3 において、 $ds \sin \phi \doteq$	図 4.3 において ϕ は通常小さいので、 $ds \sin \phi \doteq$
168	下から 7 行目	このとき、式 (10.98) は	このとき、式 (10.97) において du/u は有限なので $d\rho/\rho = 0$ となる。また、式 (10.98) は
177	上から 5,6 行目	そこで検査空間の流入面 1 と流出面 2 に対して	そこで、流入面 1 と流出面 2 を持つ開放系検査体積 (空間) に対して
180	下から 3 行目	と呼ばれ、図 10.14	と呼ばれる。図 10.14
187	下から 2 行目から	式 (11.8) はジューコフスキーの…インピーダ	式 (11.8) は第 10 章の式 (10.144) と同等であり、
188	上から 1 行目まで	ンスと呼ばれる。	振幅 $dp(\Leftrightarrow p_2 - p_1)$ 、伝播速度 $a(\Leftrightarrow u_1)$ の波とそれによって誘起された流体速度 $u(\Leftrightarrow u_1 - u_2)$ との関係を与える。波の強さ (波のエネルギー流束) $I[\text{W}/\text{m}^2]$ は $I = udp$ であるから、式 (11.8) より $I = (dp)^2/\rho a$ となる。 ρa は固有音響抵抗 $[\text{kg}/\text{m}^2\text{s}]$ である。
188	式 (11.13)	$Ddp + dDdp + (p - p_e)dD = 2hd\sigma$	$Ddp + dD [dp + (p - p_e)] = 2hd\sigma$
202	第 1 カラム 上から 2 行目	ジューコフスキーの式 187	(削除)



図(1)



図(2)